

咀嚼（そしゃく）・嚥下機能が低下した場合は、医師の指示のもとで患者様の嚥下状態に応じた嚥下訓練食を提供しています

## 嚥下訓練食

相武台病院 名称	嚥下食Ⅰ	嚥下食ⅡA	嚥下食ⅡB	嚥下食Ⅲ
学会分類 2013 コード	1j	1j	1j	1j
形態	開始食よりは粘膜の付着性が高くべたつきやざらつきが多少あるもの	嚥下食Ⅰに加え物性・食感の違うもの	嚥下食Ⅰに加え物性・食感の違うもの	食事をミキサーにかけゼリー剤で固めたもの(ゲル化)
量	1食あたり1品(100kcal P3.7g) 水分50ml	1食あたり2品(150kcal P8.7g) 水分100ml	1食あたり3品(250kcal P9.8g) 水分180ml	1食あたり4品(300kcal P9.6g) 水分200ml
主食	—	—	粥ゼリー100g	粥ゼリー100g
副食	—	魚や肉のゼリー	魚や肉のゼリー	軟菜食ミキサーの1/3量(ゲル化)
その他	エンジョイゼリー	エンジョイゼリー	エンジョイゼリー	朝食ヨーグルト、毎食カロリーゼリー
イメージ				 <食事内容> ①粥ゼリー 100g ②軟菜食ミキサーゲル化 1/3量 ③毎食高カロリーゼリー(150kcal前後) 朝:エネルギーゼリー 昼:粉アムース タ:アイソカルゼリー ④毎食パックもの * 汁物なし
おやつ	なし	なし	なし	嚥下食Ⅲよりおやつ開始
水分補給	お茶ゼリー	お茶ゼリー	お茶ゼリー	お茶ゼリーまたはトロミ茶

※日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013の基準に基づいて調整を行っています。